

新宿駅周辺防災対策協議会 新宿駅周辺地域都市再生緊急整備協議会 共催
2016年度 第1回セミナー

地域をつなぐ場づくり、人づくり ～プラス・アーツ、KIITOの活動を事例に～

2016.6.17

NPO法人プラス・アーツ
デザイン・クリエイティブセンター神戸
永田 宏和



デザイン・クリエイティブセンター神戸
副センター長
株式会社iop都市文化創造研究所代表
NPO法人プラス・アーツ理事長

永田 宏和 ながた ひろかず

企画・プロデューサー
(建築・まちづくり・アートイベント)

1968年兵庫県西宮市生まれ
91年大阪市立大学建築学科卒業
93年大阪大学大学院修士課程修了
同年株式会社竹中工務店入社
2001年2月株式会社竹中工務店退社
同年3月『iop都市文化創造研究所』設立
2006年7月『NPO法人プラス・アーツ』設立
同年1月『iop都市文化創造研究所』株式化
2012年8月デザイン・クリエイティブセンター
神戸（通称KIITO）副センター長に就任

【受賞歴】

21世紀まちづくり賞受賞（2008年度）
パートナーシップ大賞グランプリ受賞（2008年度）
「防災まちづくり大賞」 受賞（2010年度）
まちづくり法人国土交通大臣表彰（2012年度）
国際交流基金「地球市民賞」（2014年度）

+arts
NPO法人プラス・アーツ

プラス・アーツとは

社会における
既存の様々な分野
教育、まちづくり、防災、
福祉、環境・・・

+ arts → 課題解決・再活性化
新たな可能性の追求

artsとは…

- クリエイティビティ全般を包括する概念（造語）
- 既成概念に捉われない発想や創造力

防災イベント

イザ！カエルキャラバン！

楽しみながら学ぶ、ファミリー向けの
新しいカタチの防災訓練プログラム



イザ！
カエルキャラバン！
MESSAGE FROM 1995 AT KOBE



防災イベント



防災訓練
プログラム



キャンプ系
サバイバル
プログラム

災害時に必要なことは、
ほぼキャンプで学べる。



防災イベント



スポーツ × 防災
BOSAI五種競技



防災啓発ツール：書籍

地震イツモノート



阪神・淡路大震災の被災者167人に聞いた話を、
全て“絵”で表現した新しい形の防災マニュアル本。

※全国の書店で販売中

防災啓発ツール:教材

『防災ゲーム、教材（カードゲーム、紙芝居）』の開発



漫画教材『とっさのひとこと』



防災カードゲーム『なまずの学校』



防災カードゲーム『みんなで遊んでたすカルテット』



津波防災紙芝居『ちんぷいぷい』

楽しみながら、しっかり学ぶ。
ファミリーで賑わう、新しい防災訓練。



イザ!
カエルキャラバン!
MESSAGE FROM 1995 AT KOBE

IZA!
KAERU
CARAVANI

「イザ！カエルキャラバン！」開発の経緯

阪神淡路大震災が発生して**10**年が経った**2005**年。
震災の教訓や経験を風化させず、発信していくために、
企画を考えて欲しいと、兵庫県・神戸市より依頼される。

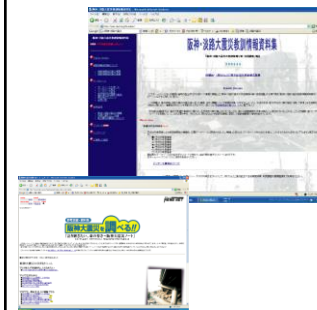
震災の教訓や経験についてリサーチを始める。



IZA!
KAERU
CARAVANI

「防災の教訓」に関する調査

1 インターネット



2 震災体験手記



「防災の教訓」に関する調査

3 震災ミュージアム



4 被災者167人からのヒアリング



リサーチから得られた被災体験談から、
伝えていくべき防災の知識・技を抽出。



抽出した知識・技を楽しみながら学べる
防災体験プログラムや防災ゲームを開発。

神戸防災体操
※来場者全員で行うプログラムです



対決バケツリレー！



IZA!
KAERU
CARAVANI

水消火器での当てゲーム



IZA!
KAERU
CARAVANI

ジャッキアップゲーム



IZA!
KAERU
CARAVANI

毛布で担架タイムトライアル



IZA!
KAERU
CARAVANI

持ち出し品なに？クイズ



IZA!
KAERU
CARAVANI

紙食器づくり



IZA!
KAERU
CARAVANI

家具転倒防止ワークショップ



IZA!
KAERU
CARAVANI

防災紙芝居



IZA!
KAERU
CARAVANI

防災ボードゲーム&カードゲーム

● 防災すごろくゲーム『GURAGURATOWN』



● 防災カードゲーム『シャッフル』



● 防災カードゲーム『なまずの学校』



とっさのひとこと

東日本大震災の被災者50人のヒアリングを元に開発した教材



●災害時の状況や気持ちを疑似体験し、「自分ならどうする?！」を考える



<協働開発：公益財団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン>

【状況シート】

被災地の状況を3コマ漫画で表現。3コマ目のセリフを考える



日本全国での展開



海外での拡がり



企業との連携による開催事例 その1 商業施設での展開

ショッピングセンターでの展開-01



「災害に負けない知識を学ぼう！」

開催時期：毎年2月～3月（2012年～）

開催場所：三井不動産の商業施設11か所



■ 背景

東日本大震災から1年が経過した2012年2月末から、家族で防災知識を深めてもらう機会として、三井不動産の復興支援プロジェクトの一環として本ワークショップを開催。

■ 目的

商業施設にご来館いただいたお客さまに、気軽に参加していただきながら、災害時に役立つ情報や知識を学んでいただく。

ショッピングセンターでの展開-02

■ 企画のポイント

- ・各店舗ごとに客層データを分析。お買物に来られるお客様の客層、生活スタイル合わせた防災プログラムを検討。
⇒10施設それぞれに違うプログラムの組み合わせで実施。
- ・自治体や消防署職員の方の協力を得て、地域防災情報の説明やワークショップの実施も行った。



シニア層が多い地域
↓
家具転倒防止
ワークショップ



女性の来店比率の
高い地域
↓
非常時の食に関する
ワークショップ



自治体の協力が可能な地域
↓
地域の消防署職員による
ワークショップ



マンション住民の
多い地区
↓
マンション防災
ワークショップ

ショッピングセンターでの展開-03



実施日	会場	住所
2月16日(土)	アーバンドックららぽーと豊洲	東京都江東区
2月17日(日)	ララガーデン春日部	埼玉県春日部市
2月23日(土)	ららぽーと柏の葉	千葉県柏市
2月24日(日)	ららぽーとTOKYO-BAY	千葉県船橋市
3月2日(土)	ステラタウン	埼玉県さいたま市
3月3日(日)	ダイバーシティ東京プラザ	神奈川県横浜市
3月9日(土)	ららぽーと新三郷	東京都港区
3月10日(日)	ララガーデン川口	埼玉県川口市
	ラゾーナ川崎プラザ	神奈川県横浜市



■ ポイント1：行政との連携を強化 開催11施設のうち、9行政（防災課/消防署）と協働実現！

例：船橋市危機管理課による防災マップの解説、備蓄品の展示
＋
船橋市消防局によるAED体験コーナー、小児救急

ショッピングセンターでの展開-04

■BO-SAIスタンプラリーのシステム

【STEP 1】

- ・受付にてスタンプラリーシートを受け取る。
- ・スタンプラリースタート。



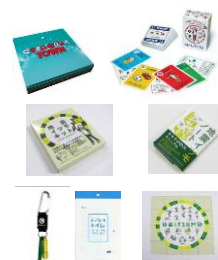
【STEP 2】

- ・ワークショップを体験するとスタンプシートにスタンプを押してもらえ。



【STEP 3】

- ・ガラポンで出た色に応じて景品をもらう。
- ・参加賞として「認定書」「連絡カード」「バッジ」がもらえる。



景品



認定書

連絡カード

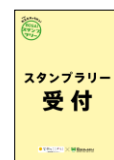
バッジ

ショッピングセンターでの展開-05

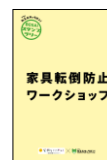
■ブランディングワーク



テーブルクロス



スタンプラリー
受付



家具転倒防止
ワークショップ

タペストリー



のぼり



バッジ



ショッピングセンターでの展開-06

社員ボランティア導入

■当日スタッフの研修会実施

対象：三井不動産、
ららぽーとマネジメント社員
研修参加者：50名
イベント参加者：約150名



ショッピングセンターでの展開-07



ショッピングセンターでの展開-08



事例：東急電鉄との取り組み

IZAI
KAERU
CARAVAN!

企業との連携による開催事例 その2 鉄道事業者との連携による開催事例



2011年から二子玉川ライズで継続的に防災イベントを実施



駅中スペースを活用して実施



事前に研修を受けた東急電鉄社員がスタッフとして参加



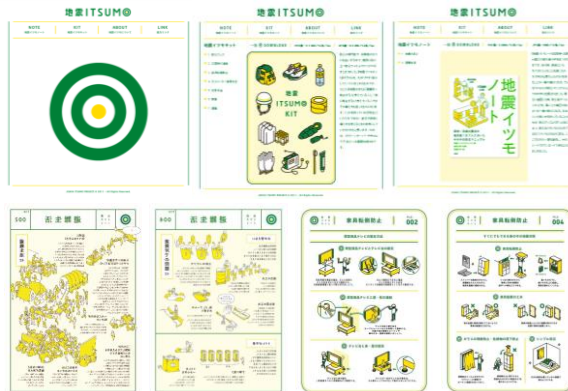
消防署、病院など周辺の団体との協働



地震
ITSUMO

地震ITSUMOプロジェクト

|| 地震ITSUMO.com ||



蓄積してきた防災の知識や技をサイトで一般公開

|| 地震ITSUMOグッズの普及 ||

防災マニュアルブック／災害時の連絡ガイドブック

●災害時に役立つ連絡方法に関する説明と、連絡先の記入欄、応急手当方法など簡単な防災マニュアルを載せたポケットサイズのガイドブックです。

・災害時連絡ガイドブック



・防災マニュアルブック



|| 地震ITSUMOグッズの普及 ||

防災マニュアルブック／災害時の連絡ガイドブック



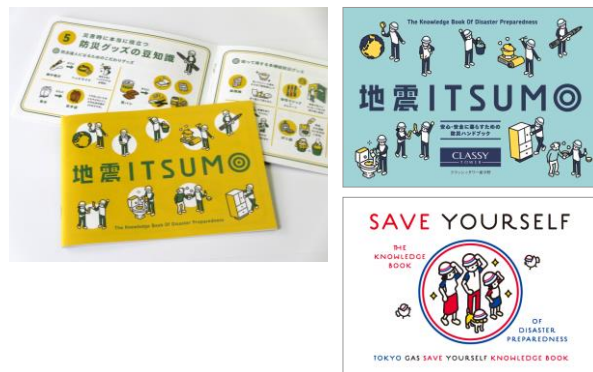
|| 地震ITSUMOグッズの普及 ||

大判ハンカチ



|| 地震ITSUMOグッズの普及 ||

テキストブック



|| 地震ITSUMO講座 ||



実践的な防災の技を伝える講座

埼玉県 イツモ防災事業



あなたのイツモが
モシモを変える。

企画主旨

“防災”が、埼玉県民の
皆さまにとって
“あたりまえのこと”として
日常生活に浸透していくことを
目指す防災キャンペーンです。

事業1 「イツモ型防災講座」講師養成

埼玉県の各市町村の危機管理課・防災課
職員、消防署職員、自主防災組織リーダー
の方々に、防災講座のノウハウや
説明ツールを提供します。



〈事業1〉「イツモ型防災講座」講師養成 基礎研修

1-(1) 基礎研修①

- 【対象】** 市町村職員、自主防災組織リーダー
- 【内容】** ① 講座デモと伝え方ポイントの解説
② 講座用スライド、配布資料データの提供
- 【目的】** 防災講座の実施ノウハウを学んでいただく



〈事業1〉「イツモ型防災講座」講師養成 フォローアップ研修

1-(2) フォローアップ研修

- 【対象】** 基礎研修受講者
- 【内容】** ① 実践で出てきた課題や不足点への回答
② プログラムアレンジワークショップ
③ イベント実践のための研修
- 【目的】** 講座実施ノウハウを定着させる





〈事業1〉「イツモ型防災講座」講師養成 イベント実践研修

1-(3) イベント実践研修

【対象】 基礎研修、フォローアップ研修受講者

【内容】 イベントでの防災啓発ブース運営
(通りがかった来館者＝無関心層に防災を伝える)

【目的】 ブース出展時の啓発ノウハウを学んでいただく



2. 講座解説ツールの提供

【対象】 研修受講者

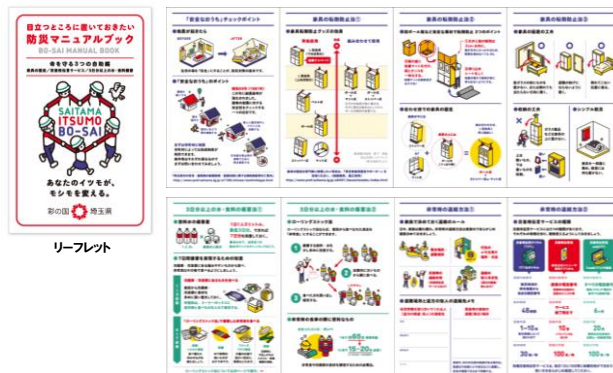
【内容】 講座実施の際の補助ツール(スライド、配布資料、リーフレット等)の提供



啓発リーフレット、ポスター、パネル等を制作し、県や市町村で行われる防災イベントで配布・展開します。



〈防災マニュアルブック「命を守る3つの自助編」〉



リーフレット

〈防災マニュアルブック「家庭における災害時のトイレ対策編」〉



〈イベント演出ツール〉



家具転倒防止キット



テーブルクロス



展示パネル



のぼり

+arts SEMINAR「東京防災を考える」企業ゼミ vol.1 「東京防災」のために、 企業のつながりで何ができるかを考える。

企業や業種を超えて連携し、日本の減災につなげる「東京防災」のために何ができるのかを考え、アクションを起こしていくというゼミを2015年8月28日に実施。

16社43名の方々に参加いただき、8つのグループに分かれワールドカフェスタイルでアクションプランを考えていただきました。

約1時間半の白熱した議論の後、発表が行われ、岡本欣也氏・寄藤文平氏から講評をいただきました。



+arts SEMINAR「東京防災を考える」企業ゼミ vol.1



+arts SEMINAR「東京防災を考える」企業ゼミ vol.1



企業間の交流 +arts SEMINAR「東京防災を考える」企業ゼミ vol.1

東京メトロ × イザ！カエルキャラバン！



社内ボランティアスタッフを募り、イベントを開催。
イベント来場者に向け、防災を伝えるプログラムを実施。

企業間の交流 +arts SEMINAR「東京防災を考える」企業ゼミ vol.1

他の企業のCSR活動に参加して生まれる交流



東京メトロ × 旭硝子 × 生団連 × 大成有楽不動産

企業間の交流 +arts SEMINAR「東京防災を考える」企業ゼミ vol.1

東京ガス × イザ！カエルキャラバン！



社内ボランティアスタッフを募り、イベントを開催。
イベント来場者に向け、防災を伝えるプログラムを実施。

他の企業のCSR活動に参加して生まれる交流



東京ガス × 生団連 × 東京メトロ

+arts SEMINAR「東京防災を考える」企業ゼミ vol.2
「東京防災」のために、
企業のつながりで何ができるかを考える。

次回の東京防災ミーティングでは…

- 東京ガスの供給指令センターの見学
- SAVE YOURSELF @OFFICEの取り組みについてご紹介いたします。

開催日時：2016年3月17日
15:30～18:00（開場15:00）
開催場所：東京ガス本社

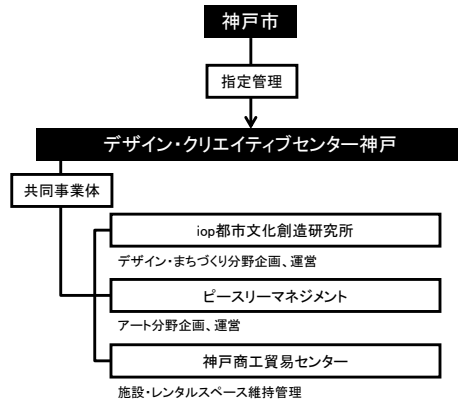
参加を希望される方は
[tokyo@plus-arts.net]まで
ご連絡下さい。



DESIGN AND
CREATIVE
CENTER
KOBE KII+O:

デザイン都市 神戸の拠点

運営体制



敷地面積 8,601㎡

延床面積 旧館：3,489㎡ 新館：10,290㎡

施工年 旧館：1927年 新館：1932年

レンタルスペース数：7スペース

クリエイティブラボ：35室

4つの活動方針



KIIITOの3つの事業

自主企画



レンタルスペース



クリエイティブラボ



スローガン

みんながクリエイティブになる。
そんな時代の中心になる。

KIITO の フィロソフィー

テーマ

神戸を**豊醸化**する

「水」の人

その土地に寄り添い、種に水を
やり続ける存在。中間支援的存在。

「風」の人

その土地に「種」を運ぶ、
刺激を与える存在。

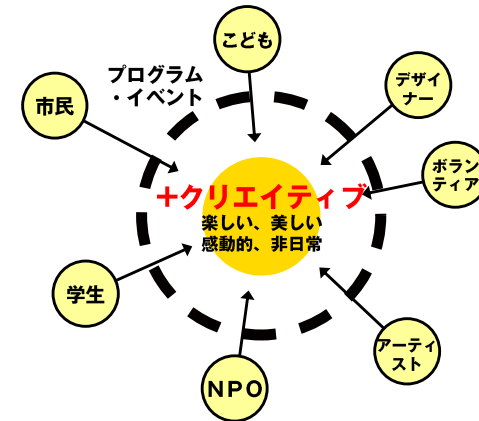


「土」の人

そこに居続ける存在。
しっかり根を張り、活動し続ける存在。

KIITO は
究極の「**風の人**」になる。
そして、
いい「**種**」をつくり続ける。
さらに、状況に応じて
「**水の人**」にもなる。

いい「**種**」には、
余地がある、関わり代がある。
そして、
「**+クリエイティブ**」で
魅力にあふれている。



KIITOのコンセプト

「+クリエイティブ」

デザインやアートに加え、既成概念にとらわれないアイデアや工夫を採り入れ、
身のまわりの社会的課題を解決する手法。

KIITO は、

「デザイン・クリエイティブセンター神戸」

であるが、

正確には、

「+デザイン・クリエイティブセンター神戸」

である。

KIITO のフィールドは、

ソーシャル、コミュニティ、

役割の中心は、

プログラム開発、

プラットフォーム（場）づくり、

である。

キーワード

+クリエイティブ

2

まちの課題+クリエイティブ

プロジェクト紹介

+ CREATIVE SEMINOR

+ クリエイティブゼミ

**市民と一緒に「+クリエイティブ」で
社会課題を解決する教育プログラム**

ゼミの流れ

1. 課題発表

行政や企業が抱える社会的課題とその背景や
これまでの取り組みを聞き、課題を自分ごと
として捉えてもらいます。

ゼミの流れ

2. チームづくり

テーマに共感し、公募で集まった様々な職業
、年代の人たちでシナジーを生み出すチーム
をつくります。

ゼミの流れ

3. リサーチ ディスカッション

毎週1回、約3ヶ月に渡り、リサーチや議論を
重ね、企画を練っていきます。

ゼミの流れ

4. プレゼンテーション

各チームの企画を課題提供者（行政や企業の担当）へ提案。

ゼミの流れ

5. 事業化

提案した企画が「グッドアイデア!」と判断されると、プロジェクトチームを結成し、実際に神戸の街へアクションを起こします。

ゼミの流れ

5. 事業化

これまでに実施したゼミは18テーマ



18プロジェクトが実現!

これまでのゼミテーマ（抜粋）

- | | |
|---------|-----------------|
| → 高齢者福祉 | → まちづくり |
| → 防災 | → 医療福祉 |
| → 災害復興 | → 子育て支援 |
| → 観光 | → 教育（メディアリテラシー） |
| → 環境 | → 医療産業都市 |

